

9月の果実の見通し

令和4年8月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 岩手 など	5043	110%	5179	313	並み	300	482	9.6%	本年度産りんごは長野・山形産等の出荷がスタート。前年のような天候による被害も無く、平年の出荷量を見込んでいる。一部日焼け果の発生もあるが、全体量からすると数%程度に留まっている。青森産は8月末から一部の商系がスタートとなり、系統ものは9月からの出荷となる。8月中旬の線状降水帯による被害もあるが、概ね平年並みの出荷量と価格推移と思われる、秋果実の販売品目としては堅調な動きと見る。
日本なし類	栃木 茨城 千葉 など	6838	100%	8524	372	高い～ 並み	351	7	0.1%	「幸水梨」は前年より遅い生育情報で出荷ペースは進まず7～8月盆前までで昨年の入荷量は8割程度で終了。関東産地の一部において雹害の被害もあった。また平年より小玉傾向で推移、また着色遅れもあり入荷は少なく価格も高値となり昨年の110%前後で盆前の販売は終了した。9月の販売は「幸水梨」がほぼ終了となり「豊水梨」主体の販売から「あきづき」となる。「豊水梨」のピークは上旬となり「あきづき」は中旬からとなる。長野産「南水梨」は下旬からの販売開始。平年よりやや高めの価格推移が予想される。
ぶどう類	長野 山梨 岡山 など	4299	105%	4457	1519	高い～ 並み	1249	335	7.8%	黒系ぶどうは、山梨産が中旬頃までの出荷予定。長野産は「ナガノパープル」が8月29日頃、「巨峰」が9月1日頃より露地物が出荷スタート。岡山産「ピオーネ」は9月8日頃より露地物が出荷スタートとなる。「シャインマスカット」は各産地生産量が増えているため出荷量は多い。山梨産は上中旬がピーク。長野産は下旬よりピークとなる。岡山産はダラダラとした出荷になる見込み。黒系・青系ともに小房傾向のためパックの出荷比率が増える見込み。
もも類	福島 山形 など	1011	95%	1332	668	高い～ 並み	567	364	36.0%	「さくら桃」においては、山梨産が上旬より始まり、20日頃にて終了。福島産が10日頃より始まり、下旬で終了予定。山形産「川中島白桃」は上中旬がピークでその後減少し、10月上旬で終了となる。新潟産は「川中島白桃」から「白根白桃」の販売となり下旬で終了。桃全体においては上旬まで数量はあるものの中旬からは減少していく。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果㈱)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)